

JSPCD

一般社団法人 日本認知症の人の緩和ケア学会 第3回学術集会 市民公開講座

認知症について一緒に考えましょう

人生100年時代、 自分のボケを考える

認知症の患者数が増えている、と言われます。しかし、増えているのは85歳以上の患者さんです。その多くはアルツハイマー型認知症と診断されるわけですが、これは、病気というより老化現象の一部だと考えるべきです。実際、85歳以上の4人に1人、90歳を超えれば2人に1人は、検査をすれば「認知症」ということになりますが、状況は人それぞれ、能力の低下の仕方も様々です。人生100年時代は、認知症を病気として克服すべき状態ではなく、老化の過程で現れる自然なプロセスと考えて、上手に付き合っていくべき現象だと、私は思います。講演では、認知症の症状を紹介しながら、どうやってそれと付き合っていくべきかを考えようと思います。(齋藤正彦)

オンライン
開催
参加費無料

2027年4月25日(日)

午後2時から3時

講師 齋藤 正彦 医師

(東京都立松沢病院名誉院長)

齋藤 正彦

千葉県生まれ。東京大学医学部卒。2012年に東京都立松沢病院院長、2021年から同名誉院長。専門は老年精神医学、医療倫理。著書に『アルツハイマー病になった母がみた世界 ― ことすべて叶うこととは思わねど』『都立松沢病院の挑戦 ― 人生100年時代の精神医療』(いずれも岩波書店)



座長

平原 佐斗司

(オレンジほっとクリニック)



申し込み
方法

2026年12月上旬から参加登録が始まります。12月に入りましたら「第3回学術集会公式サイト」にてご確認ください。 ➡ <https://procomu.jp/jspcd2027/>



問い合わせ先：一般社団法人 日本認知症の人の緩和ケア学会 第3回学術集会運営事務局
(株式会社プロコムインターナショナル内)

tel: 03-5520-8821 e-mail: jspcd3@procom-i.jp

2026年度 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 助成事業